

【安全・安心なまちづくり】 経営分析・事業分析報告書

2025年3月
総務市民局安全・安心推進課

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - （1）「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - (1) 「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

●目的

- ① 日本トップクラスの安全なまち 及び
- ② 誰もが安心を実感できるまち を目指す。

北九州市では、2014年7月に、安全・安心を実感することができるまちを実現し、次の世代に継承することを目的とした「北九州市安全・安心条例」を制定した。また、「安全・安心条例行動計画（第1次 2015～2019年）、（第2次 2020～2024年）」として、具体的な目標や方向性に基づく施策等を定め、「日本トップクラスの安全なまち」「誰もが安心を実感できるまち」を目指した取り組みを推進してきた。

●目標①:KPI

刑法犯認知件数の減少

現状値(2023年) 6,044件

目標値(2029年) 4,500件以下
政令市ベスト5を目指します。

●目標②:KPI

「安全だ（治安が良い）」 と思っている市民の割合の向上

現状値(2023年) 86.8%

目標値(2029年) 90%以上

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - （1）「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

安全・安心なまちづくりに関連する事業の概要(2024年度)

暴力団の根絶に向けた支援 (2,300千円)

- 暴力団離脱者の支援
- 暴力団追放大会の開催

犯罪を起こさせない環境づくり (195,921千円)

- 生活安全パトロール隊活動促進
- 防犯活動支援補助
- 防犯灯の設置及び補助
- 防犯カメラの設置および補助

その他の防犯事業 (4,070千円)

- 犯罪被害者等支援
- 子どもと女性の「防犯力アップ」事業

生活環境の維持・向上 (17,500千円)

- 生活環境パトロール
- 安全・安心総合相談ダイヤル

迷惑な客引き行為の排除 (17,000千円)

- 客引き行為等禁止区域での巡視・過料徴収

交通安全対策 (60,194千円)

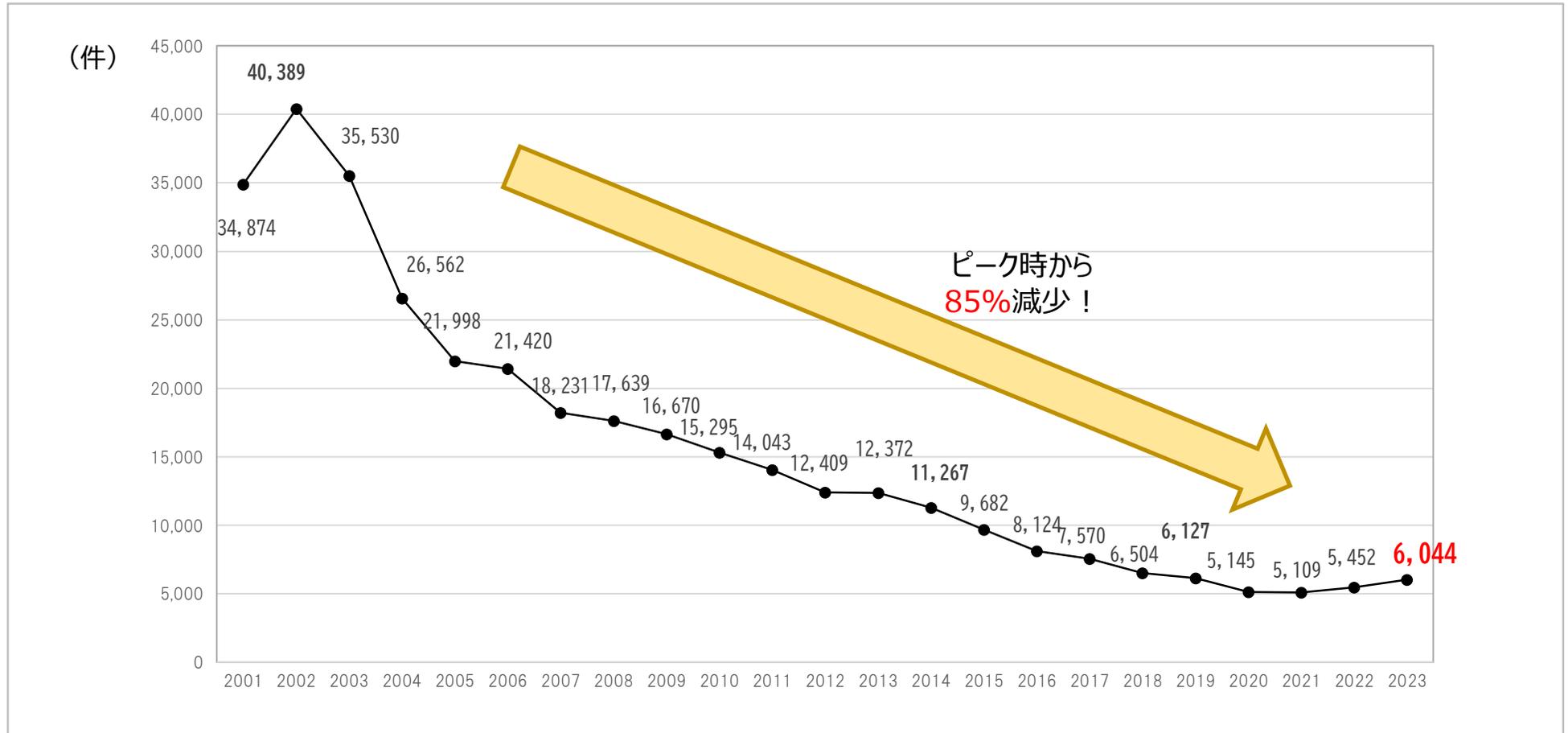
- 四季の交通安全週間などでの啓発活動
- 交通安全センターの運営
- 高齢者運転免許証返納支援・交通安全啓発
- 小学校入学時の黄色い帽子配布
- 自転車交通ルールの啓発
- 「文」マークの設置・更新
- 交通遺児への奨学金給付
- 交通安全教室(出前講演)

モラル・マナーアップの推進 (14,453千円)

- 迷惑行為防止重点地区での巡視・過料徴収
- 迷惑行為防止推進地区や迷惑防止活動推進員の支援
- 落書き消去の支援
- 小学生向け道徳教材の配布
- 迷惑行為防振推進協議会の開催

現状の把握（経年の推移等）

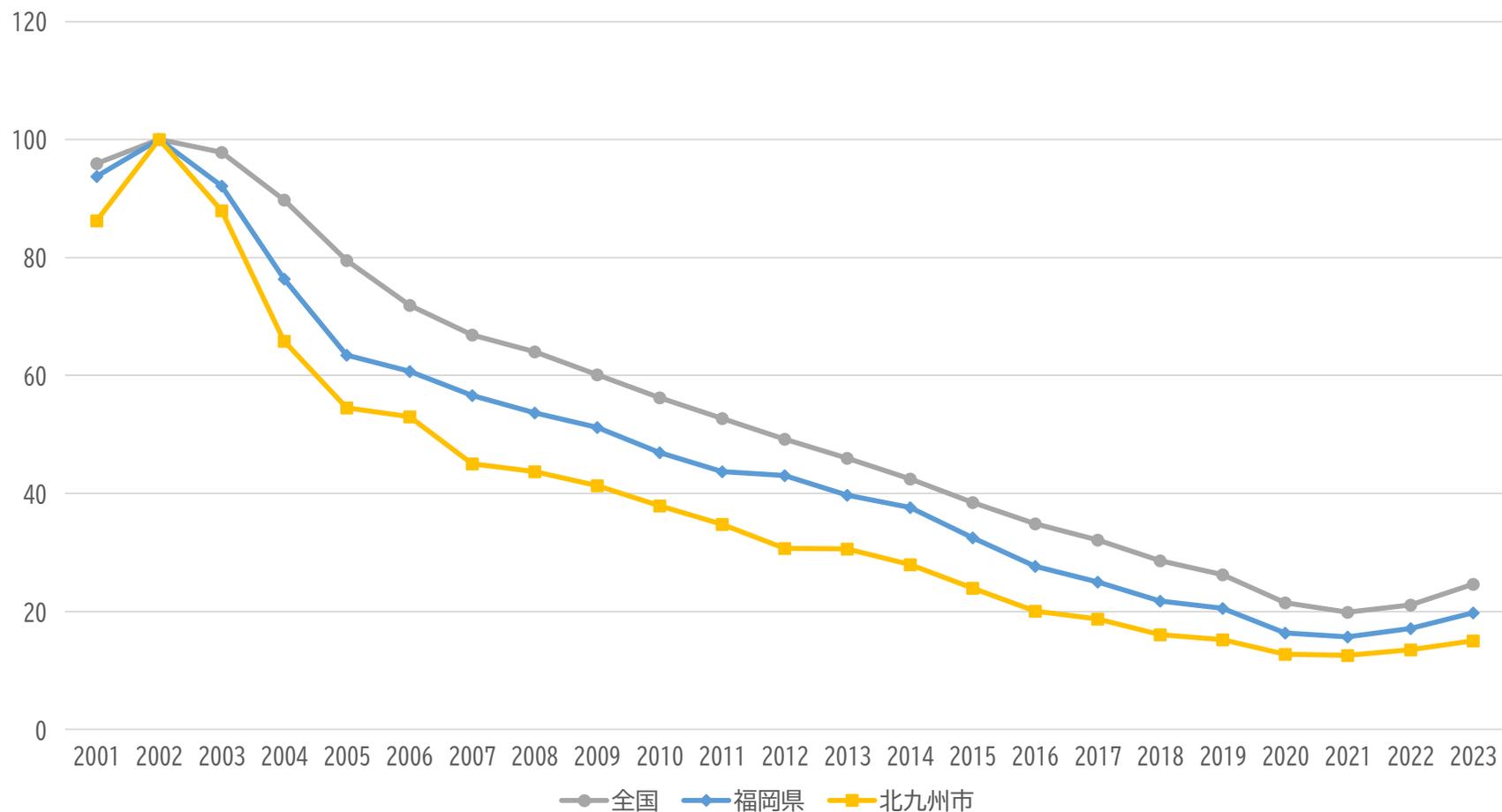
北九州市の刑法犯認知件数（推移）



北九州市の刑法犯認知件数の推移について、全国や福岡県と比較したところ、いずれも2002(平成14)年から2021(令和3年)まで一貫して減少し、2022(令和4)年、2023(令和5)年と2年連続で増加している。新型コロナウイルス感染症が収束し、人流が戻ったこと等により、刑法犯認知件数も2019(令和元年)(感染拡大前)の水準に戻りつつある。しかしながら、2002(平成14)年のピーク時(40,389件)からは約85%減少しており、当時の政令市12市で比較すると、この間の減少率は、1位となっている。

現状の把握（経年の推移等）

刑法犯認知件数の推移（2002(平成14)年を100とした場合）



北九州市の刑法犯認知件数は、全国や福岡県と同じような推移をたどっている。

現状の把握（経年の推移等）

人口10万人当たりの刑法犯認知件数の推移 ピーク時（2002年）当時の政令市12市での比較

2002年			2023年		
10位			7位		
	都市名	認知件数		都市名	認知件数
1	横浜市	2,062	1	横浜市	426
2	札幌市	2,190	2	川崎市	495
3	川崎市	2,349	3	仙台市	554
4	仙台市	2,712	4	京都市	562
5	京都市	2,743	5	札幌市	572
6	広島市	2,783	6	広島市	598
7	千葉市	3,349	7	北九州市	660
8	神戸市	3,369	8	千葉市	716
9	名古屋市	3,746	9	福岡市	771
10	北九州市	4,013	10	神戸市	802
11	福岡市	4,208	11	名古屋市	853
12	大阪市	4,810	12	大阪市	1,421

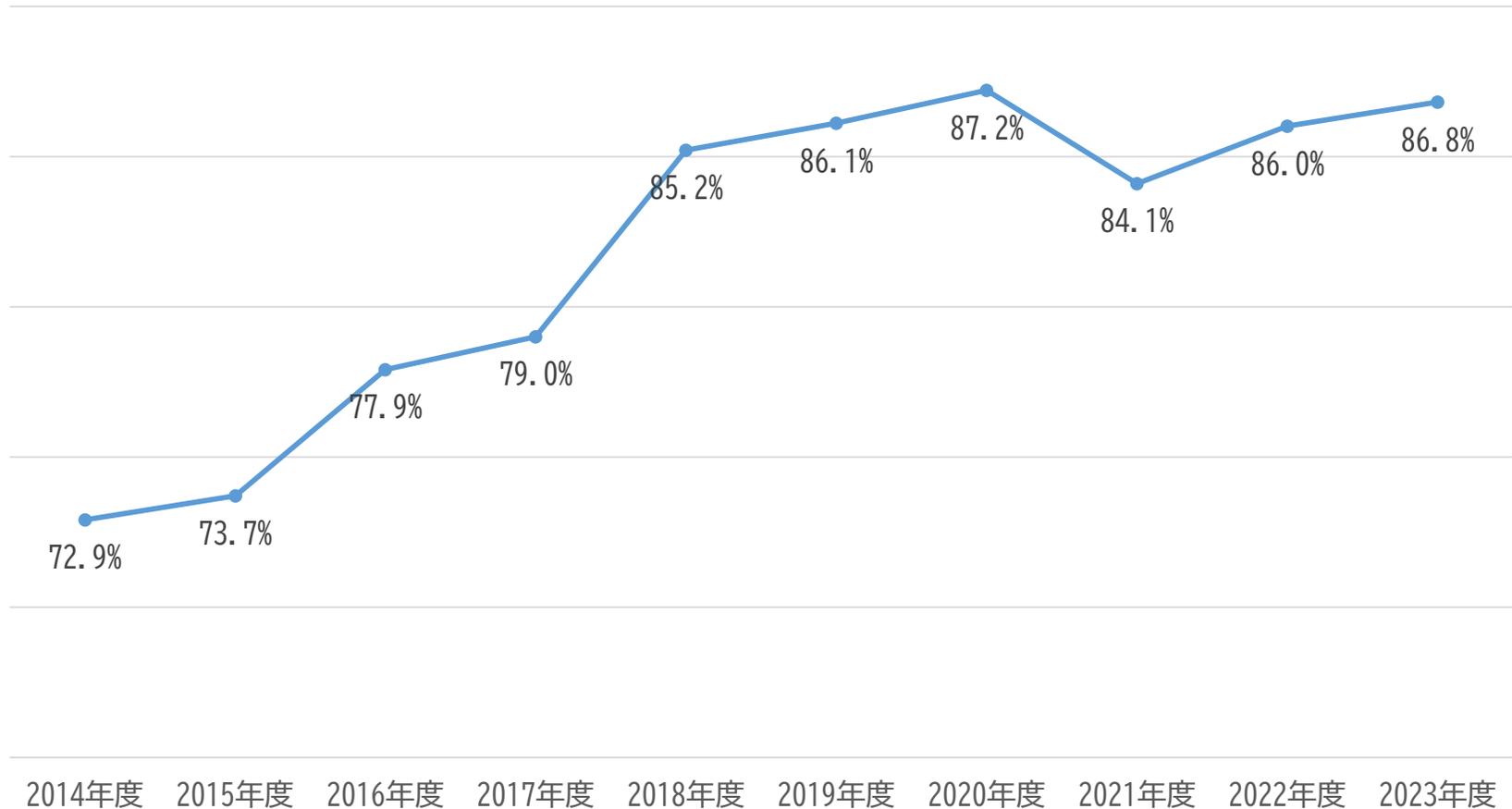


刑法犯認知件数のピークであった2002(平成14)年当時の政令市12都市の中での順位は10位だったが、当時の12政令市で比較した場合、7位に順位が上がっている。

現状の把握（経年の推移等）

「安全だ（治安が良い）と思っている市民の割合（推移）」

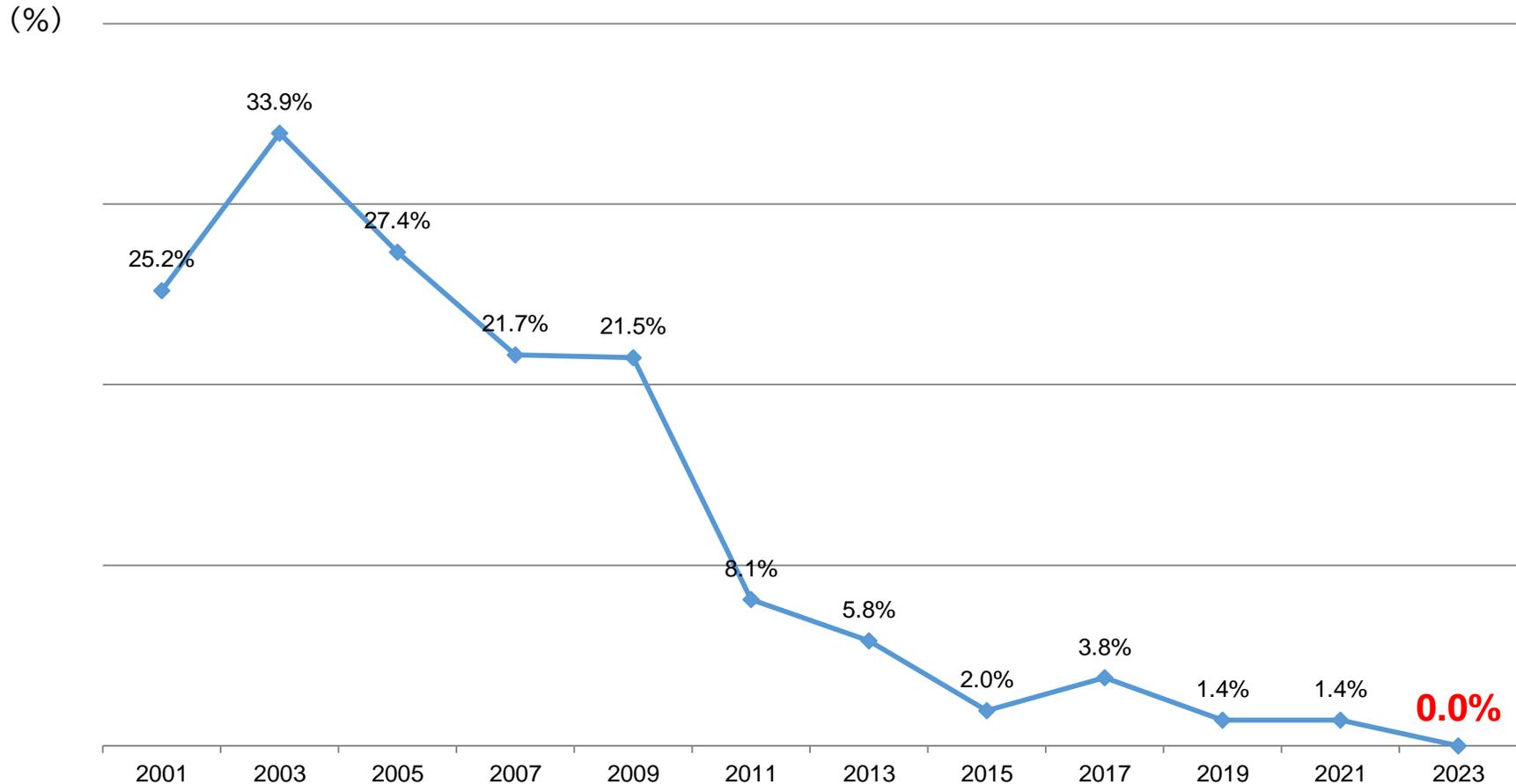
(%)



10年間で市民の体感治安も向上しており、近年は80%以上の高水準で推移している。

現状の把握（経年の推移等）

暴力団等からの金品などの不当要求を受けたと回答した企業（推移）



「これまでに暴力団等反社会的勢力から金品の要求や契約締結の強要等を受けたことがない」と回答した事業所が、2001(平成13)年度の調査開始以来初めてゼロになった。

資料： 企業対象暴力に関するアンケート調査結果（北九州市暴力追放推進会議） ※隔年で北九州市内の事業所500社を対象に実施

現状の把握（経年の推移等）

市民意識調査における市政評価（「以前に比べてかなりよくなっている」もの）

順位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1位	防犯、暴力追放運動の推進 (1,417)	防犯、暴力追放運動の推進 (967)	防犯、暴力追放運動の推進 (831)	防犯、暴力追放運動の推進 (886)
2位	ごみの適正処理とリサイクル (924)	子育て支援の推進(803)	子育て支援の推進(828)	子育て支援の推進(735)
3位	子育て支援の推進(863)	ごみの適正処理とリサイクル (794)	医療・衛生管理体制の充実 (816)	医療・衛生管理体制の充実 (693)
4位	医療・衛生管理体制の充実 (790)	緑のまちづくりの推進 (588)	ごみの適正処理とリサイクル (508)	ごみの適正処理とリサイクル (537)
5位	緑のまちづくりの推進 (767)	医療・衛生管理体制の充実 (536)	緑のまちづくりの推進 (437)	緑のまちづくりの推進 (413)

市民意識調査における市政評価では、「防犯、暴力追放運動の推進」が2015(平成27)年から9年連続第1位となっている。また、市政要望においても、近年は「防犯、暴力追放運動の推進」は10位以内から外れており、治安に関する不安なイメージの改善が進んでいることが分かる。

資料：市民意識調査における市政評価 ※ () 内の数字は得点数で、1位3点、2位2点、3位1点として計算

人口10万人当たりの刑法犯認知件数 政令市順位（2023年）

順位	都市名	刑法犯認知件数合計	人口10万人当たりの発生件数	包括罪種別					
				凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
1	横浜市	16,059	426	4.3	35.7	296.1	39.8	8.1	42.0
2	熊本市	3,238	439	5.0	45.8	300.9	27.9	8.4	50.7
3	浜松市	3,572	452	4.2	52.1	302.6	25.5	5.7	62.4
4	静岡市	3,100	458	3.7	56.3	308.1	23.7	8.6	57.9
5	川崎市	7,645	495	3.4	29.9	382.1	30.5	7.2	41.5
6	新潟市	3,979	516	2.7	44.1	357.6	36.0	6.6	68.7
7	仙台市	6,087	554	6.6	39.3	370.0	55.1	12.3	71.0
8	京都市	8,104	562	3.7	43.7	403.2	24.5	11.0	75.7
9	札幌市	11,263	572	4.7	78.8	387.4	19.3	12.9	68.9
10	相模原市	4,250	586	4.1	29.8	465.4	21.1	4.4	61.4
11	広島市	7,080	598	4.0	46.8	378.5	60.7	10.9	96.7
12	岡山市	4,552	636	5.6	52.1	466.5	27.8	9.5	74.6
13	さいたま市	8,745	650	4.9	53.8	455.1	38.7	12.1	85.6
14	北九州市	6,044	660	5.7	83.2	392.6	48.4	15.4	114.9
15	千葉市	7,020	716	6.0	47.3	535.9	41.5	8.9	76.5
16	堺市	6,173	761	6.0	45.6	543.3	47.3	14.7	103.9
17	福岡市	12,681	771	5.8	66.9	544.8	41.0	12.8	99.6
18	神戸市	12,014	802	7.5	91.5	475.0	88.6	18.9	120.1
19	名古屋市	19,857	853	8.3	76.1	570.6	66.8	8.5	122.7
20	大阪市	39,408	1,421	14.4	93.8	1,049.5	77.3	29.8	156.1

これまで、市民、企業、警察、市議会、行政が一丸となって安全・安心なまちづくりに向けて取り組んできた成果は着実に表れている。しかしながら、人口10万人当たりの刑法犯認知件数による政令市比較では、20都市中14位であり、刑法犯認知件数をさらに減少させていく必要がある。

資料：福岡県警察統計資料、警察庁統計資料に基づく北九州市作成資料

【凶悪犯】殺人、強盗、放火、不同意性交等 【粗暴犯】暴行、脅迫、恐喝等 【窃盗犯】空き巣、自転車盗、車上ねらい等 【知能犯】詐欺、横領、通貨偽造等
 【風俗犯】賭博、不同意わいせつ、公然わいせつ等 【その他】占有離脱物横領、器物損壊等

※「不同意わいせつ等」には、「不同意わいせつ」と「不同意性交等」を含む。※2023年7月に刑法改正施行により罪名変更

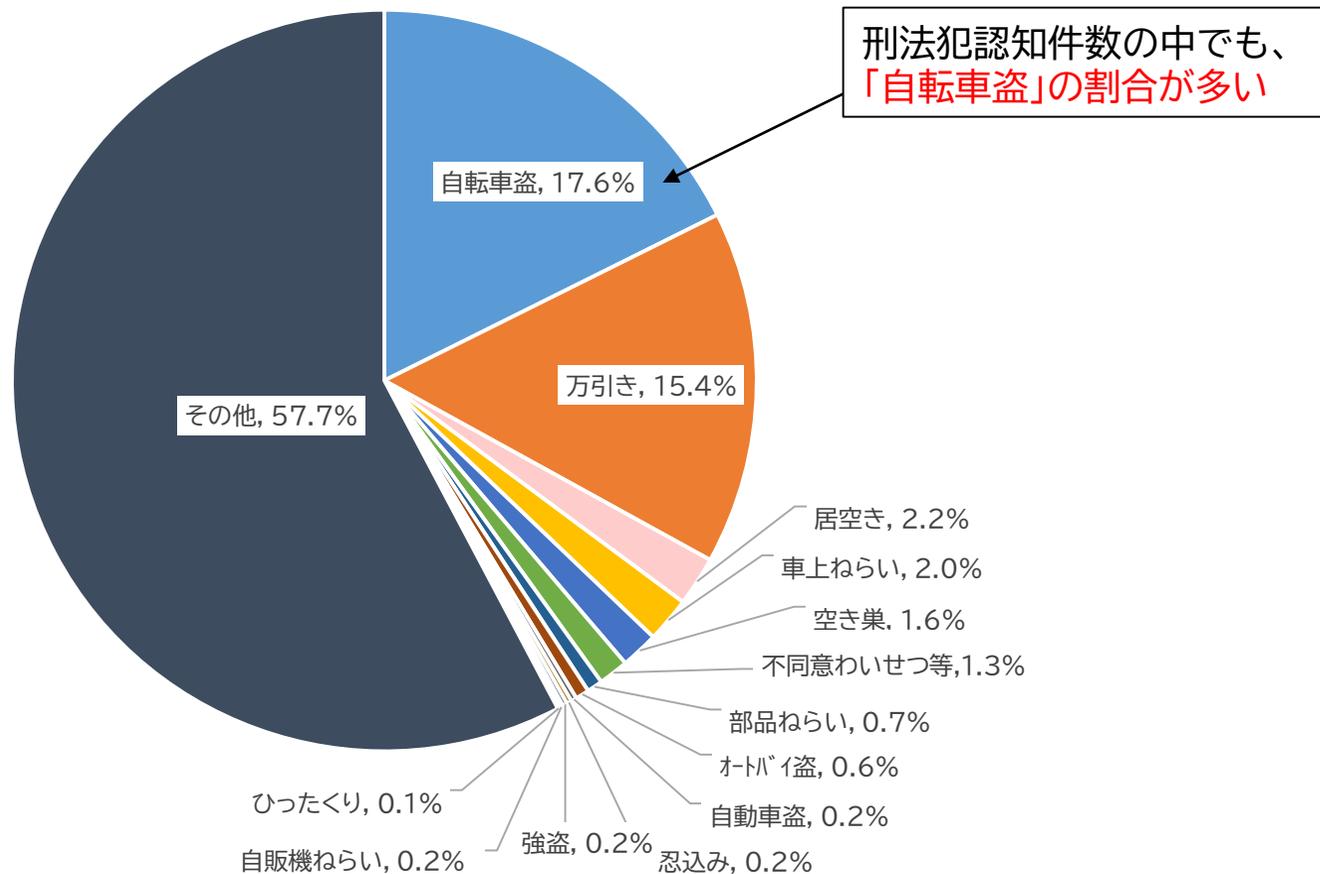
人口10万人当たりの市民生活に身近な犯罪の認知件数（2023年）

人口10万人当たりの 刑法犯認知 件数順位	都市名	人口10万人当たりの市民生活に身近な犯罪件数													
		車上 ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自販機 ねらい	部品 ねらい	不同意 わいせつ等	強盗	空き巣	居空き	忍込み	自動車盗	ひったくり	万引き	
1	横浜市	10.6	87.7	15.3	1.8	13.5	7.1	1.2	7.9	0.5	2.0	5.0	0.7	63.3	
2	熊本市	12.6	114.6	4.5	0.5	3.4	7.2	0.4	5.7	0.1	0.9	0.3	0.1	76.4	
3	浜松市	18.4	90.7	3.7	0.1	4.2	4.9	1.1	6.1	0.1	1.0	1.5	0.0	84.0	
4	静岡市	12.9	105.3	5.2	0.6	7.1	4.6	1.0	4.4	0.3	4.1	0.7	0.3	82.3	
5	川崎市	14.6	193.7	13.5	1.4	7.5	3.6	1.7	5.3	0.3	2.7	2.7	1.1	56.4	
6	新潟市	10.2	134.3	0.4	0.1	2.5	2.7	0.4	9.8	0.5	3.5	1.4	0.0	78.9	
7	仙台市	14.8	114.7	4.8	0.9	5.5	12.8	1.3	15.1	1.4	11.1	8.7	0.2	79.3	
8	京都市	25.2	163.5	11.3	0.6	7.5	9.2	1.0	2.8	0.5	1.3	2.3	0.6	95.7	
9	札幌市	10.1	170.9	1.7	0.5	6.5	4.3	1.0	5.3	0.1	1.5	1.7	0.4	102.5	
10	相模原市	15.7	184.1	28.3	3.3	22.9	2.1	1.1	9.0	0.8	7.2	7.2	0.7	71.7	
11	広島市	12.7	171.9	4.9	0.3	5.6	8.5	0.5	6.2	0.5	1.5	0.7	0.0	84.7	
12	岡山市	39.7	208.0	21.4	0.1	5.0	5.3	1.5	9.2	0.0	4.1	1.7	1.1	77.6	
13	さいたま市	15.7	190.2	9.1	6.5	13.5	12.2	1.6	8.3	0.2	2.8	7.0	1.2	83.7	
14	北九州市	13.0	116.3	3.9	1.1	4.5	8.6	1.3	10.8	14.2	1.4	1.6	0.5	101.8	
15	千葉市	27.9	206.2	10.0	3.9	18.9	8.3	1.8	8.5	1.1	3.0	13.0	0.5	104.1	
16	堺市	37.6	205.9	23.2	4.2	42.6	8.8	1.8	4.3	0.4	1.1	6.4	1.5	79.5	
17	福岡市	15.4	261.6	7.8	0.9	7.8	9.5	1.2	12.2	0.7	1.5	1.1	0.7	96.2	
18	神戸市	22.1	152.3	11.2	3.1	13.3	13.5	1.7	6.9	0.7	1.4	1.9	1.1	113.8	
19	名古屋市	17.4	230.8	7.0	2.5	18.3	9.6	2.3	10.9	0.9	3.3	12.8	0.5	122.2	
20	大阪市	73.0	459.0	17.1	5.0	34.2	20.8	4.6	6.9	1.0	1.2	5.0	2.7	131.0	

人口10万人当たりの市民生活に身近な犯罪の認知件数では、他都市同様、北九州市でも「自転車盗」と「万引き」の犯罪件数が突出している。
これらの犯罪の減少が、刑法犯認知件数を大きく減少させることにつながる。

資料：福岡県警察統計資料、警察庁統計資料に基づく北九州市作成資料

北九州市における市民生活に身近な犯罪の認知件数の罪種・手口別内訳（2023年）



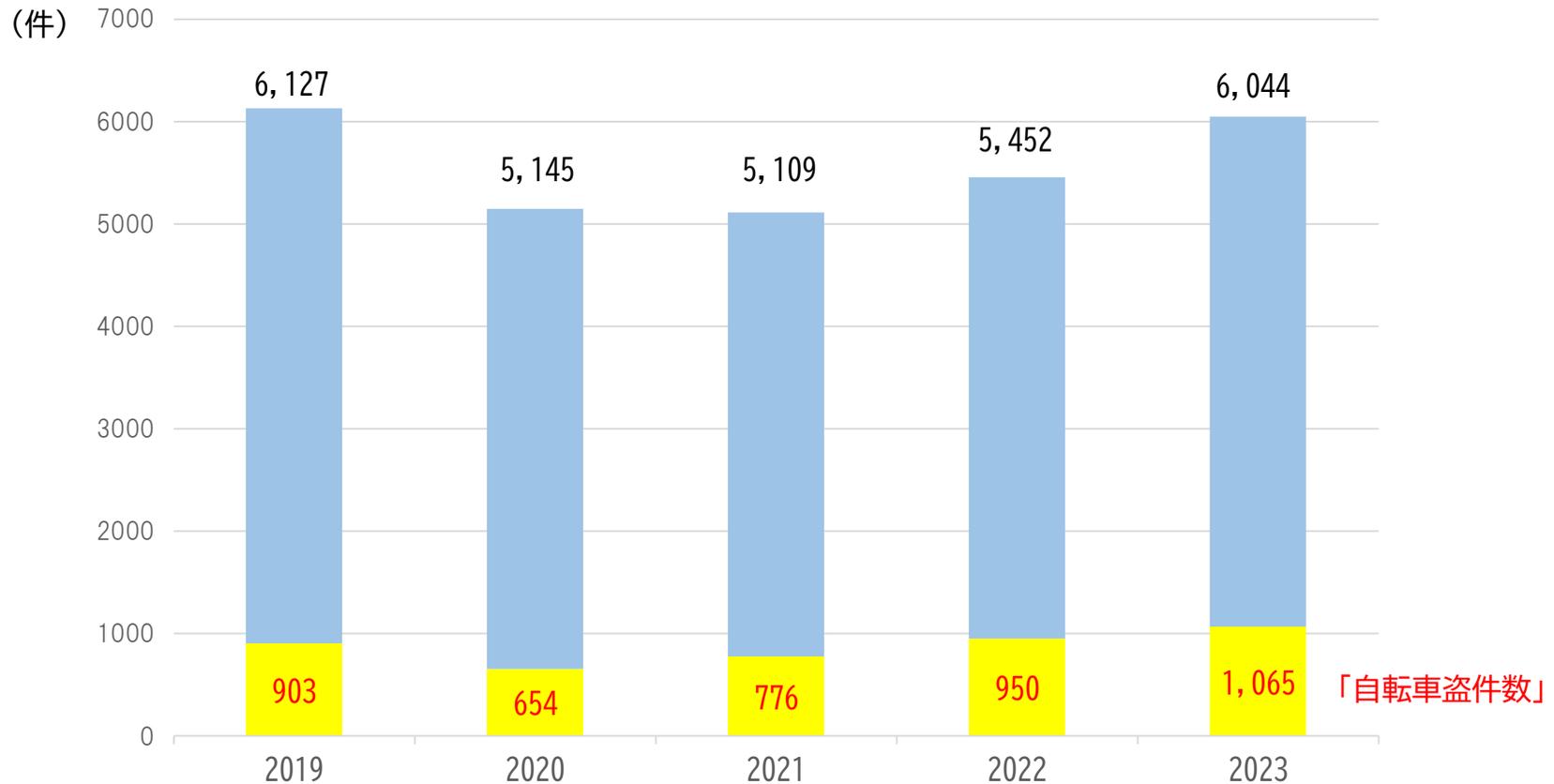
「自転車盗」と「万引き」の対策を比較した場合、「万引き」は、店舗事業者の協力が不可欠なことに加え、店舗ごとの実情（売り場の形態や従業員数など）に応じた個別の対策が必要になる。一方、「自転車盗」は、発生件数の多い公共エリアで集中的に対策を講じることが出来る。

また、個人が被害に遭う「自転車盗」を減少させた場合の方が、市民の体感治安向上につながる効果も期待出来る。

資料：福岡県警察統計資料、警察庁統計資料に基づく北九州市作成資料

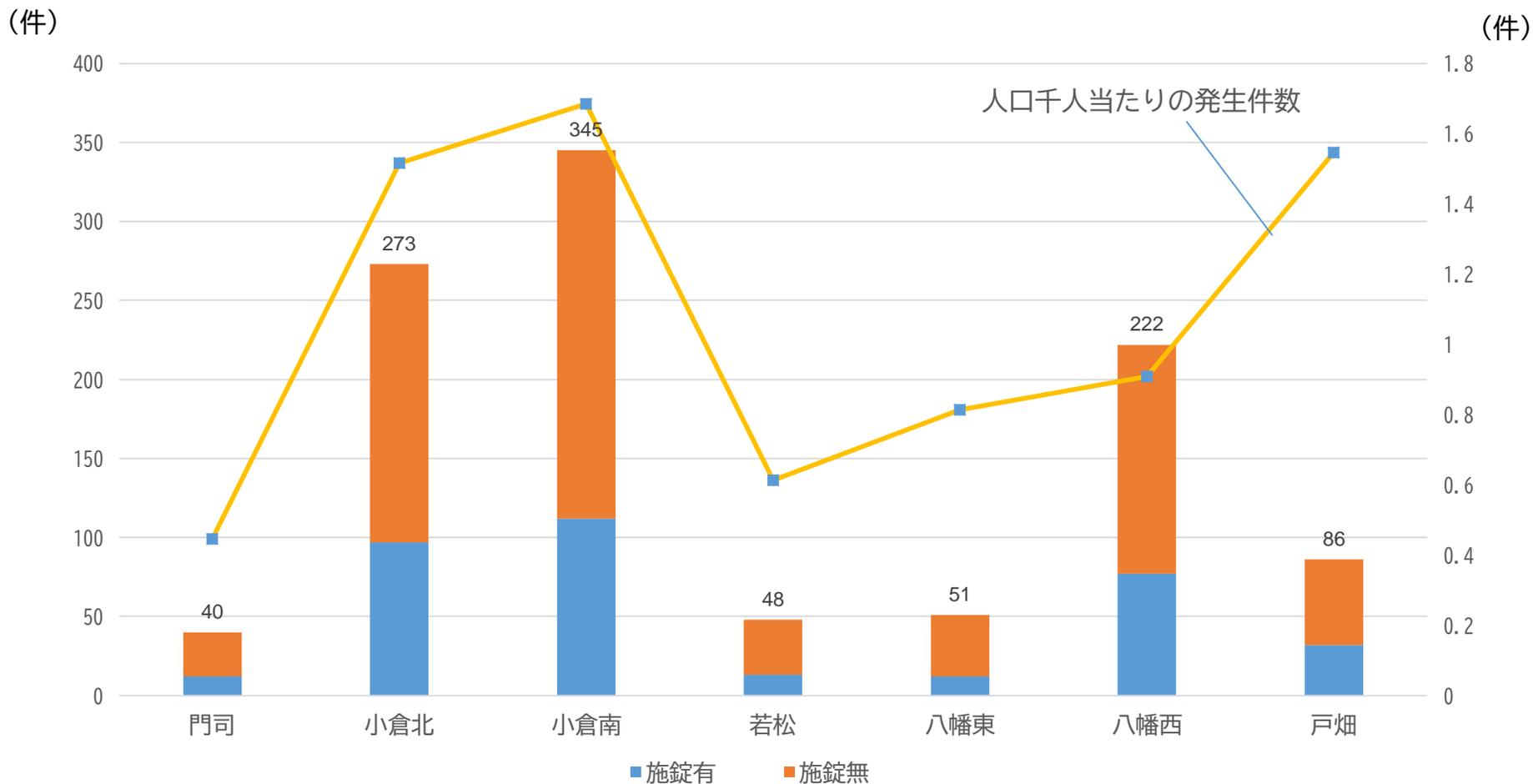
※市民生活に身近な犯罪（2023年刑法犯認知件数6,044件のうち、2,556件が該当）。様々な犯罪の中で、自転車盗、車上ねらい、住宅侵入盗など身のまわりで発生しやすい犯罪。（11罪種・手口）

北九州市の刑法犯認知件数の内訳（推移）



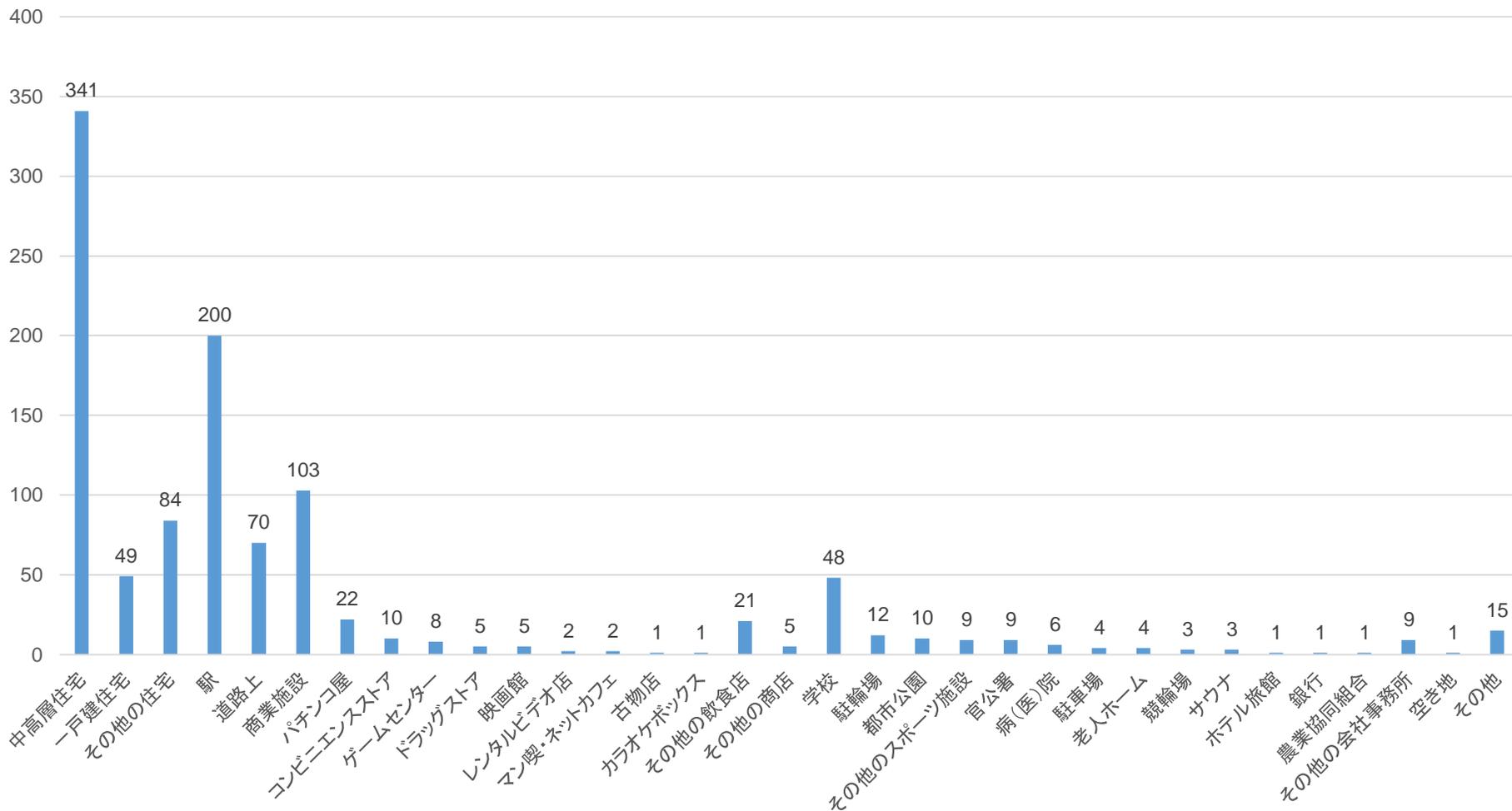
「自転車盗」も刑法犯認知件数同様、コロナ禍後、年々増加の傾向。
「自転車盗」を減少させることで、刑法犯認知件数を削減し、日本トップクラスの安全なまち、誰もが安心を実感できるまちの実現につなげていく。

北九州市内における自転車盗発生状況(区別)



区別では、小倉南区、小倉北区、八幡西区での発生が多いが、人口千人あたりでは戸畑区での発生も多いことが分かる。また、被害遭った自転車のうち、鍵をかけていなかった自転車が約2/3、鍵をかけていた自転車が約1/3となっている。

北九州市内における自転車盗発生状況(場所別)



「自転車盗」の発生場所は中高層(4階建以上の)住宅が最も多く、ついで駅、商業施設(デパート、ショッピングセンター、スーパー等)の順となっている。
この中でも、**行政が対策できるのは、駅周辺**が考えられる。

駅周辺の自転車盗を減らすために考えられる施策

項目	施策	内容	担い手
1	施錠（特にツーロック）の啓発	啓発を行っているが、最終的には所有者本人が施錠を行う必要がある	自転車の所有者
2	地域防犯パトロールへの支援	地域団体が必要とする箇所のパトロールを行っている（駅周辺の自転車盗のみに注力することは難しい）	地域団体
3	地域防犯カメラ設置への補助	地域団体が必要とする箇所に防犯カメラを設置している（駅周辺の自転車盗のみに注力することは難しい）	地域団体
4	行政による防犯カメラの設置	自転車盗が多い場所に防犯カメラを行政が設置する	行政

駅周辺の自転車盗を減らすために**行政が実施できる施策は、防犯カメラを設置し盗難を抑止**することが考えられる。

自転車盗の抑止への防犯カメラの有効性

他都市での防犯カメラによる自転車盗対策の効果

愛知県内駐輪場（駅周辺）	設置後1年で48%減少
鈴鹿市内駐輪場（駅周辺）	設置後3年で50%以下に減少
福岡市天神周辺	設置後1年で21%減少

他都市では、自転車盗やその他の犯罪対策で防犯カメラを設置し、その結果、自転車の盗難件数が減少しており、**自転車盗の抑止に防犯カメラは有効**と考えられる。

- ・ 刑法犯認知件数の中でも自転車盗の割合が多い。
- ・ 自転車盗が多い場所の中で行政が対策できるのは駅周辺。
- ・ 自転車盗対策として行政が実施できる施策は**防犯カメラの設置**。
- ・ 防犯カメラの設置は他都市で自転車盗の抑止に有効な結果が出ている。

防犯カメラ事業（市設置）について

●防犯カメラ事業(市設置)の概要

- 設置個所：①小倉北区、八幡西区の繁華街【計88台】 [運用開始：2012年3月]
 ②JR駅周辺【4駅に計26台】 [運用開始：2021年4月]

○設置目的：各種犯罪の発生抑止

- 成 果：①刑法犯認知件数の減少
 2012年：12,409件 → 2023年：6,044件 (51%減少)
 ②警察の犯罪捜査への情報提供
 2023年度：289件

○防犯カメラ関連予算(114台分)

(単位:千円)

2024年度 予算	
合計	25,744
設置費	0
更新費	0
運用費計	25,744
電気代	1,456
通信費	18,351
保守点検費	5,937

繁華街+JR駅周辺(114台分)

繁華街のみ(88台分)

繁華街+JR駅周辺(114台分)

●防犯カメラ事業(市設置)

◆小倉北区の繁華街：市設置60台



◆八幡西区の繁華街：市設置28台



発砲事件等の暴力団が関係する重大犯罪抑止のため、繁華街（小倉北区、八幡西区）での設置運営を行っている。（計88台）

近年、地域の商店街でも防犯カメラが設置されてきており、市設置のカメラとの重複箇所が出てきている可能性がある。

現状の把握

●防犯カメラ事業(市設置)

【折尾駅周辺】 北部(折尾1丁目、折尾4丁目) 5台
南部(南鷹見町、堀川町) 5台

※駅利用者27,966人/日 計 10台



【城野駅周辺】 小倉北区若富士町 3台
小倉南区域野1丁目 5台

※駅利用者8,612人/日 計 8台



【西小倉駅周辺】 小倉北区室町3丁目 4台
※駅利用者9,624人/日



【スペースワールド駅周辺】 八幡東区東田2丁目 4台
※駅利用者6,096人/日



性犯罪や軽犯罪の抑止のため、乗降客が多い主要駅周辺（折尾駅、城野駅、西小倉駅、スペースワールド駅）に設置している。（計26台）

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識**
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - (1) 「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

- ・ 刑法犯認知件数の中でも割合が多い自転車盗への対策が十分でない。
- ・ 「自転車盗の件数」を減らすためには、自転車盗が多い駅周辺に行政が防犯カメラを設置することが有効である。
- ・ これまでは各種犯罪の対策として、人が多く集まる場所へ防犯カメラを設置してきたが、自転車盗が多い場所への設置はできていなかった。
- ・ 今後、防犯カメラを新規設置していくためには、限りある予算の中で設置費用を確保しなければならないため、運用費の多くを占める繁華街防犯カメラの経費の効率化が求められる。
- ・ 小倉北区、八幡西区の繁華街において、地域の商店街が設置している防犯カメラの設置個所を確認し、市設置の防犯カメラと重複する箇所があれば、効率化のため配置の見直しを図る必要がある。

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - （1）「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

●防犯カメラ事業

安全・安心なまちづくりの目標である「刑法犯認知件数の減少」に向けては、自転車盗を減らす必要がある。

これには、自転車盗対策に有効な、「行政による駅周辺での防犯カメラの設置」を行う必要があるが、現在の防犯カメラが担っている各種犯罪への抑止対策も重要である。

そのため、現在設置している防犯カメラの運用を効率化したうえで継続しつつ、今後の防犯カメラの設置目的を、自転車盗対策への目的に振り替えていく。

●防犯カメラ事業

設置目的（設置個所）の転換

	設置目的	設置個所
これまで	暴力団犯罪への対策	繁華街
	性犯罪や軽犯罪への対策	利用者が多い駅周辺



これから	自転車盗対策	自転車盗が多い駅周辺
------	--------	------------

繁華街防犯カメラの効率化

繁華街防犯カメラの運用費（通信費）及び配置を見直し、経費を削減



自転車盗が多い駅周辺の防犯カメラの新規設置につなげる

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - (1) 「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

●防犯カメラ事業

◆課題(変革案) 1 【自転車盗対策】

視点：①選択と集中(最適化)

内容：自転車盗難が多い駅周辺に防犯カメラを新規設置する。

◆課題(変革案) 2 【運用の効率化】

視点：①選択と集中(最適化)

内容：繁華街防犯カメラの経費削減

専用回線(有線)による通信方法を見直す。

◆課題(変革案) 3 【運用の効率化】

視点：①選択と集中(最適化)

内容：繁華街において、地域設置の防犯カメラと市設置の防犯カメラの重複箇所があれば、市設置防犯カメラの配置を見直す。

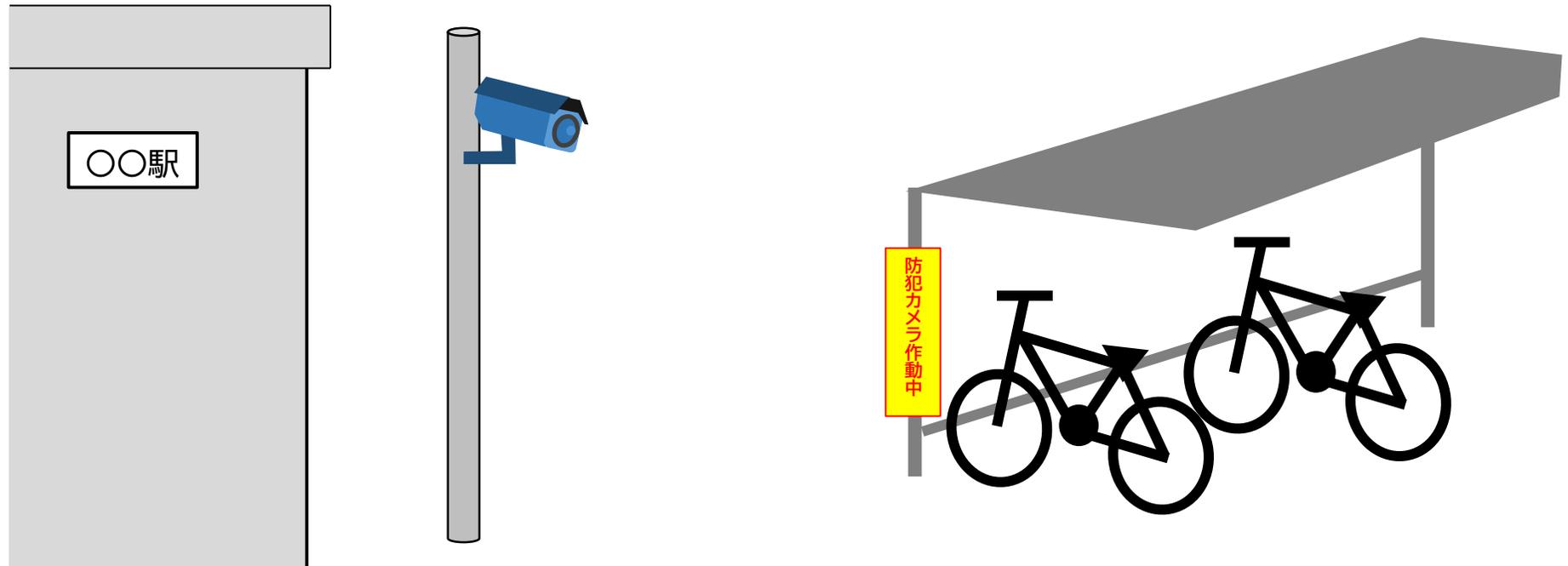
目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - （1）「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

●防犯カメラ

◆課題(変革案) 1【自転車盗対策】

- ・警察と連携しながら自転車盗が多い駅を選定し、駅周辺に防犯カメラを新規設置する。



課題(変革案)実行のための打ち手(案)

●防犯カメラ

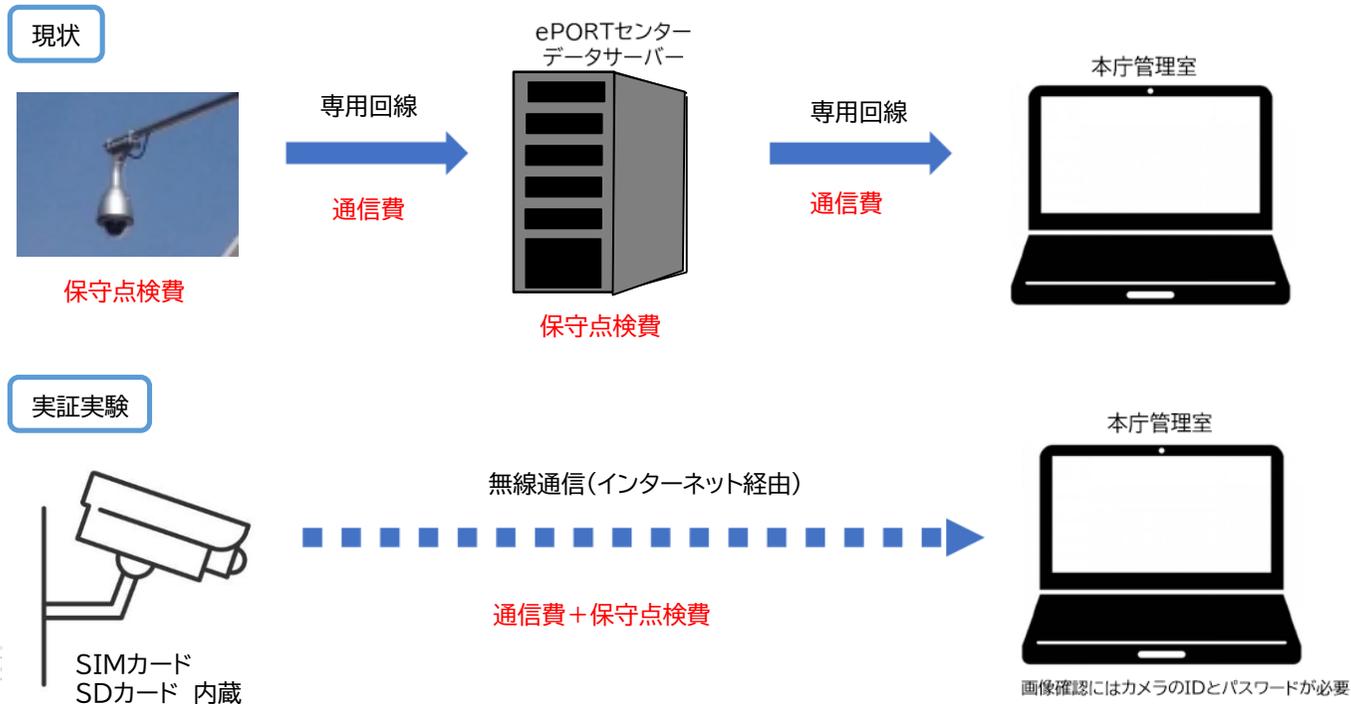
◆課題(変革案) 2【効率的な運用】

- ・課題1の防犯カメラ新規設置に経費を要するため、繁華街防犯カメラの専用回線(有線)による通信方法を見直し、無線通信の防犯カメラへ切り替え、通信費を削減する。

更新費用 40万円/台 × 80台 = 約32百万円

通信費 約10百万円/年を削減 ⇒ 3年後には更新費用も回収

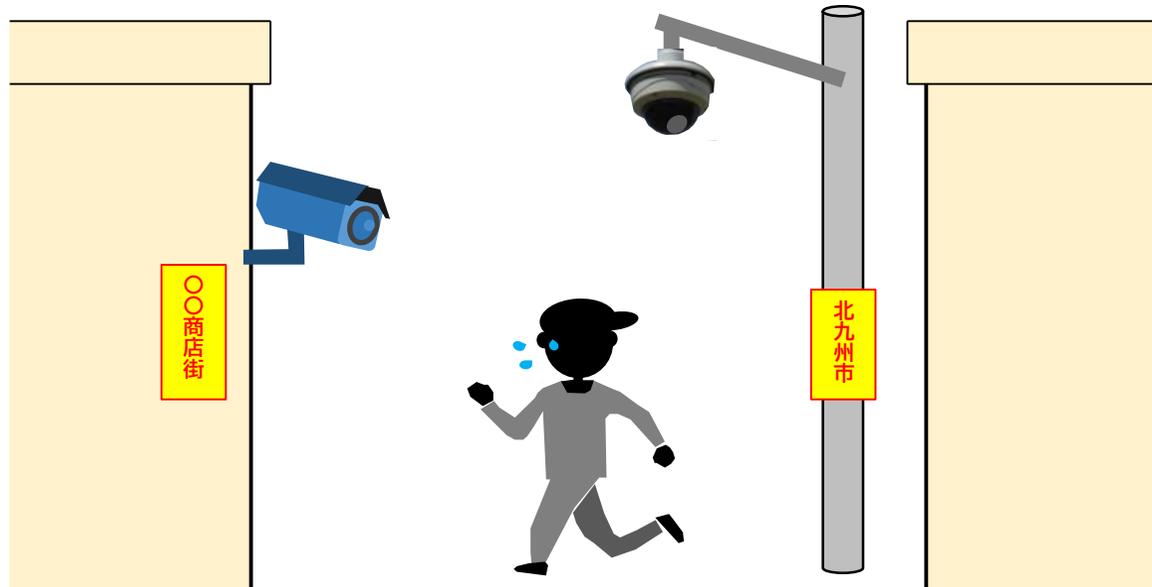
繁華街防犯カメラの通信方法



●防犯カメラ

◆課題(変革案)3【効率的な運用】

- ・ 繁華街において、地域の防犯カメラの設置個所を確認し、市設置の防犯カメラの重複箇所があれば、市設置防犯カメラの配置を見直す。



目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 現状の把握
- 3 現状における問題認識
- 4 枠組みの転換の考え方
- 5 課題（変革案）
 - (1) 「選択と集中（最適化）」
- 6 課題（変革案）実行のための打ち手（案）
- 7 行程表（スケジュール）

行程表(スケジュール)

課題 (変革案)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
自転車盗が多い駅 周辺への防犯カメラ の設置		防犯カメラ設置個所の調査、検討 自転車盗が多い駅周辺への防犯カメラ設置		
繁華街防犯カメラ の無線化	無線化の 実証実験	無線防犯カメラ への更新		
繁華街防犯カメラ の配置見直し		地域設置個所の 確認、市設置の 配置見直し		

参考資料がある場合は巻末に添付

参考資料

その他の施策について

防犯パトロール活動への参加者数の増加

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
生活安全パトロール隊	10,443	10,446	10,337	10,059	7,961
企業・事業者	26,739	33,583	36,103	59,386	74,344
パトランキタキュー	665	680	693	735	745
学生ボランティア	378	378	405	439	541
合計	38,225	45,087	47,538	70,619	83,591

全体としては増加しているものの、活動の中心を担う生活安全パトロール隊の参加者は、高齢化や自治会への加入者数の減少により減少傾向にある。